

ご自由に
どうぞ。
TAKE FREE

別府

BEPPU MIGRATION LIFE

移住生活

別府で
はじめ
自分らし
暮らし方。

エリア別、生活情報。
移住の先輩に聞いてみました!

矢野友来さん / 勝 正光さん / 出塚昭彦さん / 土谷エリさん

まちの大先輩へ
別府の魅力! 聞きました。

別府での生活を応援する
暮らしのサポートいろいろ。



別府市とは

九州の北東部、大分県の東海岸のほぼ中央に位置する別府市は、鶴見岳から別府湾へ向かって広がる扇状地に発達した都市です。市内には別府八湯と呼ばれる八つの温泉郷があり、湧出量と源泉数は日本一。無数の湯けむりが立ち上る温泉観光地として有名な別府ですが、実は山も海も近く、市民活動もさかん暮らしやすい都市であることを、ご存知でしょうか。別府市を暮らしにスポットをあててご紹介します。



鉄輪

かんなわ

人気観光地ながら住環境としても人気の高いエリア。公共温泉はもちろん、温泉付きの物件も多くあり、温泉地ならではの生活を満喫できる。立ち上る湯けむりが特徴的。



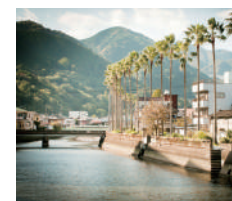
関の江

別府で唯一の海水浴場があり、海沿いにはヤシの木が立ち並ぶ。広い庭をもつ戸建て物件も多く、別荘地としても人気がある。山の手からは美しい海が眺められる。



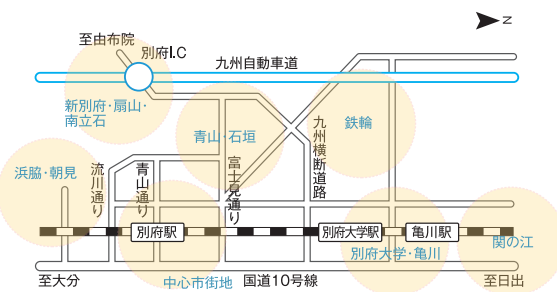
中心市街地

駅や商業施設、繁華街などがあり、年間を通じて多くの催しが行われ、最もにぎわいのあるエリア。入り組んだ古い路地も残り、レトロ口でどこか懐かしい雰囲気。



浜脇・朝見

別府温泉発祥の地とも呼ばれ、歴史ある建築物や、古くから続くお祭りや行事も多い。海、山、川に囲まれた自然が豊かなエリア。



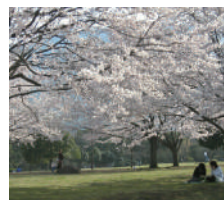
別府大学・亀川

漁港に近いエリアで、昔ながらの商店街には人情味が溢れている。大学が近いため若者も多く、カフェや飲食店も多い。駅が近く、利便性も高い。



新別府・扇山・南立石

閑静な住宅街で、大通り沿いには商店や飲食店も多く、生活に便利なエリア。戸建て物件も豊富で、広々とした公園もあり、ファミリー層におすすめ。



青山・石垣

公共機関や教育・文化関連の施設が多い住宅街。温水プールや夜遅くまで利用できる運動場もあり、多くの市民が利用している。カフェやスイーツ、雑貨のお店も充実。





学生時代から暮らした福岡市を離れ、別府へ移住して半年が経つ。転職先を探していたときに、たまたま出会ったのが今の別府市内の職場だった。実家が大分県内にあり、比較的近いというのも移住の大きな理由。現在はカレンダー通りに休日があり、定時に家に帰る

生活を送っている。「まだこっちに来て半年ですが、休みの日には家族であちこち出かけています。福岡にも小さい公園はたくさんあつたけど、別府の公園はすごく規模が大きいから気持ちが良いですね。あと、食べ物屋さんに行くことが多いかな」

国際的なまちで、のびのびと。

もうすぐ3歳になる娘の詩奏^{ししか}ちゃんは、人見知りせず、よく笑う。これからの風にな成長していくのかを考えると、今はとても楽しい。「別府が国際的なまちだというのは、意識していません」と矢野さんは言う。海外からの旅行者や留学生も多い別府は、多様な国籍の人が道を歩いている。「子どもが小さな頃から自然と国際的な交流ができるので、いい刺激になるなと思います。移動図書館がいたり、子ども達が自由に遊べる児童館も多いみたいだし、うまく利用しながら生活していきたいですね。うちの子が健康に育ってくればいいなと思っています」



矢野さんのお気に入り



鉄輪 心にも体にも優しいカフェ

休日になると家族そろって公園や遊園地に出かけ、外食を楽しむことも多いという矢野さんご一家。なかでも、無数の湯けむりが立ち上る風景で知られる鉄輪の、築100年の一軒家を改装した「こちカフェむすびの」にはよく訪れるのだそう。「このお店は素材や調理法にこだわった体に優しいお料理が食べられるから、子ども連れでも安心です」と奥さん。

>移住者<

矢野友来さん(33歳)
梨代さん(32歳)、詩奏ちゃん(2歳)



子どもの成長を見守る暮らしを

「娘も大きくなるし、もっと一緒に過ごせる時間が必要だと思って」。以前は放送局に勤務していた矢野友来さん。休みは不定期で、夜中まで仕事をする日もあったのだそう。しかし子どもの成長は早い。どんどん大きくなる娘と、もっと一緒に過ごす時間をつくりたいと思い、転職を決めたという。

移住データ

移住歴:半年
職業:医療事務
以前の居住地:福岡県福岡市
移住のきっかけ:転職
居住エリア:鉄輪エリア
3LDK温泉つき 社宅



東京ではたくさんさんの選択肢があり、物も遊ぶ場所も溢れている反面、アトリエに籠って制作をして、ギャラリで発表するという生活に窮屈さを感じ、勝さんは悶々としていたという。そんな時、別府に来て驚いたのが、まちの人との距離の近さや親しみやすさだった。ア

パートで制作をしていますが、地域の人たちが差し入れを持って訪ねて来たり、行事に誘ってくれたりした。「ここだったら、日常生活の延長上として美術を考えられるんじゃないかなと思っただけです」。芸術祭があり、アーティストとしての活動できる環境があるというのも、判

「ここには特別な「日常」がある。」

断材料になったという。

これまで積極的に地域の行事に参加してきた勝さん。最近では児童館で美術の先生をしたり、お祭りの手伝いをしたりと、ひっぱりだこだ。絵の注文を受けることも増えてきた。制作をしながら、別府の昔の話を聞いたり、人との出会いにつながることも多いという。「作品をきっかけに人と人が繋がったり、集まったりする。それがすごく面白いです。これからどういう形になるかはまだ分からないけれど、こういう豊かな日常の中で、自分の表現について考えていきたいです」。今は時間をかけて、まちに浸透してきたところ。ここでどういう表現ができるか、考えているという。

楽しいよ！



勝さんのお気に入り



中心市街地

アーティストが暮らすユニークなアパート

「ここがあったからこそ、別府を魅力的に感じました、僕は別府に根を張ることができました」そう言って胸を張る勝さんが住むのは「清島アパート」。審査によって選ばれる8名のアーティストが、アトリエ兼住居として入居している。「ここで色んな人が出会ったり、繋がったりしてきました。僕もその一人です。もっと人が自然と集まるような場所にしていきたいな」と勝さん。

移住データ

移住歴:5年
職業:画家
以前の居住地:東京都
移住のきっかけ:制作活動の場として
居住エリア:中心市街地
木造アパート
(築約60年、2R+共有のキッチンとリビング)

2009年に別府市内で開催された芸術祭をきっかけに移住した勝 正光さん。アーティストが共同生活を送る「清島アパート」に住んで、今年で6年目になる。「着いてすぐに、ここはいいぞーと、直感的に思ったんです。その後東京に戻る用事があったんですけど、その時にはもう家を引き払って来てしまいました」

>移住者<

かつ まさみつ
勝 正光さん(32歳)

豊かな日常の中で、
自分の表現を
考えながら





別府港北浜ヨットハーバー

ち歩きまわったのだという。「今まで経験したことのないまちだなと思ったんですけどね。外国みたいだなって気がしたんです。でも生まれ育った東京の下町のような感覚もあるし、不思議なまちだなって」。房総半島や伊豆、

トルコ、若い頃住んでいたフランス等、移住先として検討していたところはいくつもあったが、この滞在をきっかけに別府への移住を決めた。現在の家を友人の紹介で見つけ、千葉の自宅を売却し、2008年に別府

外国のような、下町のような、不思議なまち。

に引越した。

「別府は山も海もあって自然が素晴らしいし、すぐ住みややすいです。あと温泉のありがたみですね」。70歳以上の市民に配布される市営温泉の優待チケットを利用して温泉を楽しんでいる。「別府にはたくさんのお湯があるから、あちこちの温泉に行っています。同じ温泉でも、シーズンや天候で泉質が変わったりもするので、面白いですよ」。今は暮らしをトータルに提案するデザインの仕事をしながらも、長年の趣味であるヨットや、まち歩きのボランティア、様々な文化事業に関わるなど、エネルギーシユに別府での暮らしを楽しんでいる。

おじいちゃん



出塚さんのお気に入り



中心市街地

まちの中のヨットハーバー

「海から見る別府は、ナポリよりも素晴らしい。こんな静かな海、他にないですよ」そう言って目を細める出塚さんは、もう40年ほど趣味でヨットに乗っているそう。中心市街地からも近い別府港北浜ヨットハーバーには、車椅子用の設備もあり、出塚さん自身も障がい者ヨットチームのサポーターをしている。「いろんな人にヨットに乗ってもらいたいです。海の楽しさを知ってほしいな」と、メンテナンスにも力が入る。

移住者

いでづか あきひこ

出塚昭彦さん(74歳)

山も海も温泉も



移住データ

移住歴:6年
職業:自営業(デザイン事務所)
以前の居住地:千葉県千葉市
移住のきっかけ:まちが気に入った
居住エリア:関の江
5LDK 一軒家 持ち家

「何だこのまちは！って思ったの。驚きましたよ」別府のまちに出会ったときのことを、出塚さんはそう語る。8年ほど前、長年住んだ千葉県の幕張ベイタウンを離れ、夫婦二人でのんびり老後を過ごそうと移住先を探していた頃、たまたま別府を訪れた出塚さん。2晩の滞在の間に時間を見つけてはまちをあちこ

アになるまち」だと言う。16歳で転落事故に遭い、車椅子の生活になった土谷さん。障がいのために高校も退学せざるを得なくなり、将来に希望が見えず、別府市のリハビリ施設に居た頃は、ひどく荒んだ気持ちだったのだそう。そんな中で現在のご主人と出会い、一緒に過ごす内に別府

の面白さも知っていったのだという。駅前にも二人で暮らす家を見つけ、施設から出たのは2年前。「まちの人々もみんな仲がよくて、みんな知り合いだったし繋がっていたりすることに、安心感や温かみを感じました。人との繋がりを大事にしているのがすごく魅力だと思います。ここだったら暮らしていけると思ったんです。以前はもともと都会に住みたいと思っていたんですけど、今はもう、別府以外に住みたいとは思わないですね」。昔から、湯治客や旅人、外国人など、様々な人々を優しく受け入れてきた別府。だからこそ誰にでも寛容で、個人の活動を大切に



土谷さんが主宰する「こんべぎ出版」では、詩や小説・イラストを集めたアンソロジー「こんべぎのこんべいどう」を季刊発行している。

このまちからは、安心感や温かみを感じる。

にしてくれるのだと、土谷さんは言う。「自分の活動を認めて、手伝ってくれる人がいるのがすごくうれしい。感謝もしてるし、応えたいです」詩の創作や発表、出版など、表現活動に取り組んでいる土谷さんは、「いつか別府が『詩のまち』になると良いな」と夢をふくらませる。



兼通訳



土谷さんのお気に入り



中心市街地 時代の流れを感じられる、細い路地の飲み屋街

別府の重度障がい者センターでのリハビリで知り合った友達と息抜きをしようと、遊びに出かけた別府のまち。その路地裏の佇まいや飲み屋街の雰囲気に「別府ってこんなに面白い場所だったんだ!」と驚いたのだそう。やよい通り商店街はよく通るし、ティールーム「コージーコーナー」のある西方寺通りもお気に入り。通りごとに表情の異なる路地裏を探検するのも楽しい。

>移住者<

土谷エリさん(21歳)

自分らしく、活動できるまちで



移住データ
移住歴:2年
職業:無職(出版活動中)
以前の居住地:大分県大分市
移住のきっかけ:結婚
居住エリア:中心市街地
3LDK マンション

「別府って障がいのある人を見る目も違うんですよ。嫌な視線がほとんど無い。まち自体は坂ばかりでバリアフリーではないんですけど、サポートしてくれる人も多いです。別府に来た頃は、私も障がいをもってばかりで辛い時期だったので、別府の人たちの、あまり差別しない感じにすごく救われました」。土谷エリさんは、別府を「心のケ

LIXIL不動産ショップ
(株)ファミリーホーム
植田康子さん

こんな素晴らしいところに
住んでいたんだって思ったんです。



「別府の魅力は、空気がきれいで温泉があつて、眺めがいいところですね！」そう断言するのは、「LIXIL不動産ショップ(株)ファミリーホーム」社長の植田康子さん。30歳で就職した不動産会社で、別府市内を中心に物件を開拓・紹介する業務を担当し、別府の隅から隅まで歩きまわったという。21年前に自ら会社を設立し、現在は別



府市内を中心に賃貸物件・売買物件を紹介している。長年このまちと付き合ってきた植田さんを感動させたのは、フェリーの上がら見た別府の風景。「こんな素晴らしいところに住んでいたんだって思ったんです」。山を背に扇状に広がる別府市の美しさに改めて気づいたという。「それに、みんないい人ばかりだから、別府は本当に住みやすいまちですよ」別府の素晴らしさをもつ

と多くの人に知ってもらいたいという植田さんの想いから、ファミリーホームでは遠方からの問い合わせに対して資料を送付したり、希望通りの物件を紹介できるように事前の相談受付も行っている。移住の相談を受けることも多く、お客様一人ひとりのライフスタイルに沿うよう親身になって紹介・提案をしている。また、女性スタッフがが多いので、女性の一人暮らしの相談にもきめ細やかに応じてもらえる。「お客様の希望す

る暮らし方から、お勧め物件を紹介することもできます。暮らす場所ですし、色々見て決めてほしいですね」と、植田さんは穏やかに微笑む。



LIXIL不動産ショップ
(株)ファミリーホーム
⑦ 大分県別府市石垣西2-1-48
☎ 0977-23-3911
📞 0977-23-8511
http://www.family-h.jp



別府の魅力！聞きました。

まちの大先輩へ

野上本館 フロント
田中慎司さん

別府は面白い場所だらけ。
でもいちばんの魅力は人です。



別府駅からほど近い旅館「野上本館」のフロントに立つ田中さんは、25年ほど前に別府に移住し、現在は業務の傍ら「オンパク(温泉泊覧会)」の事務局にも関わっている。オンパクとは地域の人が企画する小規模の体験交流型イベントを集めたもので、その目的は「まちを元気にすること」。別府にはオンパクをはじめ、まち歩きや地域資源を活用したイベント等、地域の人が中心になって進めている取り組みが数多くある。田中さ

んの関わるオンパクはその先駆者の存在だ。田中さんは大分市の出身で、小さな頃から別府を訪れる機会が多かったが、移住した当初は「別府には何もない」と思っていたという。「でもオンパクに関わるようになって、実際にまちを歩いてみたら、面白い場所だらけだつて気づいたんですよ」オンパクの取り組みを通じて地域の人々が変わってきたという田中さん。「二度参加した人が『また来年も参加したい』今度はもっと良くしたい

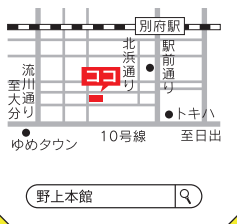
い」と思ってくれて、継続していくうちに、だんだんその人にファンがつくんです」人が変わると、まちが変わる。まちが元気になるれば、自然と人が集まってくる。「野上本館」では、滞在しながら別府のまちを楽しんでもらえるように、リーズナブルな宿泊料金の提案や周辺のお店の案内を充実させるなどの工夫をしている。田中さんをはじめスタッフの皆さんは、宿泊者に別府を楽し



んでもらえるよう、様々な情報を積極的に発信している。「別府は海も山も近くにあるし、車でちょっと走れば高原も棚田もある。いろんな要素がぎゅっとつまっています。いろんな楽しみがあります。そしてなにより、まちの人たちが中心になるイベントがたくさんあるっていうところが魅力ですね」まだまだ語り尽くせないばかりに田中さんは目を輝かせる。



野上本館
⑦ 大分県別府市北浜1-12-1
☎ 0977-22-1334
📞 0977-22-1336
http://yukemuri.net



別府市の 暮らしのサポート いろいろ

別府市が行っている、暮らしに関わる様々な支援サポートをご紹介します。
移住・定住後の生活にお役立てください。
(裏面のお問い合わせ窓口も併せてご利用ください)

暮らし

ふれあい農園

市内山間部にある農地20㎡(4m×5m)を、年間6000円で利用できます。栽培方法などのアドバイスも受けられ、自然とふれあいながら、野菜や草花を育てることができます。

別府市経済産業部
農林水産課
TEL.0977-21-1111(内線4453)

優待入浴券

70歳以上の方または障がい手帖を所持する70歳未満の方を対象に、市営温泉10カ所を年間180回利用できる優待入浴券を交付しています。

別府市福祉保健部
高齢者福祉課
TEL.0977-21-1442

留学生との交流

留学生の母国をアカデミックに紹介する国際理解教室や伝統舞踊等を披露する文化祭など、その他留学生が企画・実施する様々なイベントに参加し交流を深めることができます。

別府市観光戦略部
文化国際課
TEL.0977-21-1131

移動図書館

市内11コース31カ所を月1回で巡回しています。貸し出し冊数は5冊まで、貸し出し期間は翌月の巡回日までです。一般書から絵本、児童書まで取り揃えています。

別府市立図書館
0977-23-2453

教育

地域教育力活性化事業

市内全域で地域住民のボランティアにより、学校内外の教育活動への支援と市内6つの公民館で子ども教室等を開催しています。

別府市教育庁社会教育課
TEL.0977-21-1587

海外留学奨励金

市内に3年以上居住している市民が、海外(国際連合加盟の国又は地域)の高校、短期大学、大学、に1年以上勉学・研究で留学する場合、奨学金を5万円交付します。

別府市観光戦略部
文化国際課
TEL.0977-21-1131

子育て

子ども医療費の無料化

保険適用分につき子どもの医療費(小・中学生は入院分のみ対象)が無料です。

第3子以降の保育料無料

第3子以降のお子さんは、3才未満まで保育料が無料です。

子育て支援センター

親子で自由に入ることができ、家庭的な雰囲気の中で楽しく子育てができるようサポートします。子育て相談もお受けします。公立3カ所、民間3カ所のセンターがあります。

子育て支援サイト「わくわく 別府っ子」

保健、医療、福祉、教育などの情報を掲載した「べっぴん子育てガイドブック」の携帯サイト版。各種検診や予防接種等の情報をタイムリーに受信できるメールサービスも行っています。

<http://www.smile-kids.jp/beppu.oita>

子育て支援全体の問合せ

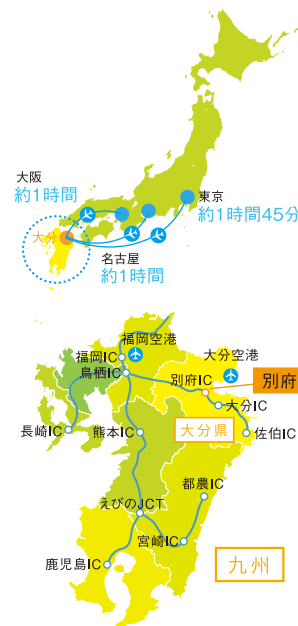
別府市福祉保健部子育て支援課
TEL.0977-21-1427

「別府移住計画-移住の手引き-」より抜粋。「別府移住計画」では、様々なサポート情報を紹介しています。

チェック! 別府市ホームページ → 市政 → 移住

別府市へのアクセス

別府市は大分空港から車で約40分。フェリーの発着する港と、高速道路のインターチェンジを持ち、陸路でも海路でも空路でも、アクセスしやすい場所にあります。



飛行機で(大分空港まで)

東京 羽田空港から …… 約1時間45分
成田空港から …… 約2時間

愛知 中部国際空港から …… 約1時間20分

大阪 大阪国際空港から …… 約1時間
関西国際空港から …… 約1時間10分

大分空港 → 別府市中心市街地 …… 車で約40分

移動には、空港特急バス「エアライナー」が便利。

電車(別府駅まで)

東京 東京駅 → 小倉駅 …… 約5時間(新幹線)
乗り換え → 別府駅 …… 約1時間(JR特急)

愛知 名古屋駅 → 小倉駅 …… 約3時間(新幹線)
乗り換え → 別府駅 …… 約1時間(JR特急)

大阪 新大阪駅 → 小倉駅 …… 約2時間30分(新幹線)
乗り換え → 別府駅 …… 約1時間(JR特急)

福岡 博多駅 → 別府駅 …… 約1時間40分(JR特急)

フェリーで

大阪 大阪南港 → 別府国際観光港 …… 11時間50分(夜行便)

神戸 神戸港 → 大分港 …… 約11時間20分(夜行便)
西大分駅 → 別府駅 …… JR線 約10分

四国 八幡浜 → 別府国際観光港 …… 2時間50分

車で

福岡市から …… 約2時間30分

北九州市から …… 約2時間

大分市から …… 約20分



別府市全域MAP

移住・定住に関わるとご相談窓口

**相談
窓口** 別府市企画部総合政策課
TEL.0977-21-1122

生活情報

転入・転出の手続き …………… 別府市生活環境部市民課 / 0977-21-1135
国民健康保険 …………… 別府市生活環境部保険年金課 / 0977-21-1148
介護相談 …………… 別府市福祉保健部高齢者福祉課 / 0977-21-1463
水道の手続き …………… 別府市水道局営業課 / 0977-23-0361
下水道の手続き …………… 別府市建設部下水道課 / 0977-21-1486
家庭ゴミに関する窓口 …………… 別府市生活環境部環境課 / 0977-66-5353

教育に関する相談

幼・小・中学校 …………… 別府市教育庁学校教育課 / 0977-21-1574
高等学校 …………… 大分県教育庁高校教育課 / 097-506-5612

住居・宿泊相談(ホテル・旅館等)

(宿泊) 別府市旅館ホテル組合連合会 …………… 0977-22-0401
(住居) 大分県宅地建物取引業協会 別府支部 …………… 0977-21-8578
*そのほか、住居に関する情報は本パンフレットP10、11もご参照ください。

職業相談

ハローワーク別府 …………… 0977-23-8609
ジョブカフェおおいだ 別府サテライト …………… 0977-27-5988

医療に関するご相談

別府市医師会(病院等) …………… 0977-23-2277

協力企業(P10、11掲載)

LIXIL不動産ショップ(株)ファミリーホーム …………… 0977-23-3911

発行日：2014年12月8日(2017年10月16日増刷)
発行：特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT
編集：特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT、小山冴子
デザイン：森竹俊象
撮影：安藤幸代
監修：定住政策研究会

- *本誌の内容を無断で転記、記載、複写することを禁じます。
- *本誌は平成26年度 泉都別府ツーリズム支援事業「移住定住促進 パンフレット制作・配布事業」により、別府市政策推進課との協力によって制作しました。
- *本誌情報は2014年11月21日現在のものです。
(別府市役所部課名等については、増刷日現在の内容に変更しております。)